

福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約 : 5/26)

採取場所	1号機原子炉建屋 原子炉ウェル上部 南側		1号機原子炉建屋 原子炉ウェル上部 北西側		1号機原子炉建屋 原子炉ウェル上部 北側		1号機原子炉建屋 機器ハッチオペフロ階		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	2016年5月12日 8時35分～9時05分		2016年5月12日 9時15分～9時45分		2016年5月12日 10時15分～10時45分		2016年5月12日 6時48分～7時48分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)							
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	2.3E-07	0.00	ND	-	5.4E-07	0.00	3E-03

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-7Bq/cm³、Cs-134が約4E-7Bq/cm³、Cs-137が約3E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-7Bq/cm³、Cs-134が約2E-7Bq/cm³、Cs-137が約2E-7Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。